

施策情報のグループ共有化

①情報連携の取組み(EDI化の推進、UI/UXの取組み、IT推進の取組み)について

	西濃運輸	遠州西濃	伊豆西濃	丸久運輸
現状 (状況及び、課題)	<p>【EDI化推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2024年8月末時点のEDI化:95.6% <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・EDI化率100%に向けて、大幅な対応策が乏しく個別で対応している 	<p>【EDI化推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・74.7%(2024年8月) <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大口出荷先のシステムとKMⅡが連携できず、またシステム改良の為の導入コスト負担で折り合いが付かず難色を示す 	<p>【EDI化推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・81.9%(2024年8月末時点) <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存大口荷主への導入が遅れ、顧客独自システム利用によるシステム改修費用の問題あり 	<p>【IT推進の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拘束時間管理システムの導入 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2024年の改善基準告示の法令を遵守するために、月間の拘束時間を正確に把握する必要がある
新たな取組み (課題解決策)	<ul style="list-style-type: none"> ・店所でのドットプリンターを用いた統一原票の印刷の廃止 ・非EDI原票での出荷が月間30件以上ある荷主をリストアップし、EDI導入のターゲットリストを作成、店所と共有し、EDI導入交渉の進捗の確認を行う。また、上記ターゲットリストの進捗をセイノール情報サービスの各地区の営業担当者と共有し、主にシステム面でKMⅡを導入することにつき不安をお持ちの荷主様に対する交渉のサポートを行って頂く ・手書き伝票廃止での代引原票、通販便のEDI化 	<ul style="list-style-type: none"> ・KMⅡ導入に難色を示しているお客様に対して、SISとの同行営業で解決策を探る →改良コストを負担して大口顧客のEDI化を前進させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・KMⅡ導入におけるメリットを案内しながら交渉を進める ・SISに帯同して頂き、解決策を見出す 	<ul style="list-style-type: none"> ・運行日報では、月を跨いだ運行形態の拘束時間を正確に1秒単位で把握できないため、デジタルのシステムをカスタマイズして、正確な時間を把握できるようにする必要があった
効果・実績について	<ul style="list-style-type: none"> ・2024年5月にターゲットリストを配信して以来、店所でのドットプリンターを用いた統一原票の印刷の廃止が契機となり、9月末までに全社で180荷主(原票63,152枚)において、EDI化の交渉に成功している 全社EDI化率+0.6%分寄与 	<ul style="list-style-type: none"> ・TGの中で1番出荷件数が多いお客様(約2,000件/月)のEDI化進行中 当初4~5月運用予定が課題克服に時間が掛かり年内にずれ込むが、(導入コスト約1,000千円) ドライバーの作業時間72分→14分 事務所の作業時間18分→4分 合計90分→18分に72分/日の作業時間短縮 	<ul style="list-style-type: none"> ・大口ターゲットリストより2件中1件は年内導入を確約 1件は社内稟議中 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月からの拘束時間を正確に把握できたことで、車両のコースが同様の社員を比較して、その差異に関して個人ごとに出ている時間管理のクセを管理者が把握をして、時間管理の指導に繋がった
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ドットプリンターの廃止により、店所で原票を作成してお客様にお渡しすることが出来なくなる旨のご説明を行い、宛先等が印刷された統一原票のストックが少なくなってきた荷主に対して実際の利便性が向上している実感を体験して頂き、EDI導入の交渉を行った場合、交渉の成功率が高い傾向を確認している 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業時間削減の費用対効果は大口出荷荷主ほど大きい →SISと連携して客先システム導入を見送っているTGにEDI化を進めていきます 	<ul style="list-style-type: none"> ・大口件数出荷荷主の時間削減効果は大きく、マイセイノール各種メニューの利用メリットを案内したことによるもの 	<ul style="list-style-type: none"> ・正確な時間が把握できることで、無駄な時間の削減ができるような指導ができた